

ときひがの子



60年前の昨日は…

昭和 34 年(1959 年) 9 月 26 日、**伊勢湾台風**が東海地方を中心に 5000 人以上の犠牲者を出しました。私が生まれたばかりの頃です。あれから 60 年経た今、どうでしょう。年々巨大化する台風や豪雨、土砂災害の被害が各地で繰り返され、多くの犠牲者を出しています。さらに、南海トラフ巨大地震に恐怖を感じています。



昭和 34 年 9 月 26 日 伊勢湾台風

文部科学省は、次年度から開始される小学校の新学習指導要領に、「各教科を通して防災教育に取り組むこと」と促しています。また、大学の教職課程においても、今年度から防災への対応が必修化されました。国や自治体でも、今年 6 月から「警戒レベル①～⑤」を用いて、国民が素早く判断・避難できるように改善しました。

そこで、本校では、本年度の研究を「**避難**」に注目しました。地震・台風をなくすことは難しく、「自ら判断し、自分の命を守る」ことが何よりも大切であり、「**災害から身を守る避難**」が不可欠だと考えるからです。

防災会議の皆さんのご協力

本校では、「**土砂災害マイタイムライン**」を全国で初めて独自に作成し、「**親子防災学習**」や地域でも実施しています。この「土砂災害マイタイムライン」や「**防災アンケート**」は、愛知工業大学教授小池則満先生と防災会議の皆さんのご協力で作成できました。



9 月 20 日 第 3 回防災会議「図書室」

本校の防災会議は、「学校・地域・大学・NPO 法人・行政等」に、今年は「PTA 役員」や学区防災指導員の中根功雄氏、内藤松雄氏も参加してください。20 名前後で年間約 7 回実施を予定しています。会の皆様には、本校の研究の方向性についての審議や防災アンケートやマイタイムラインなどの作成・配布・回収や、授業支援や「まちあるき」にもご協力いただいています。また会員の中根総代会長さんにお願ひし、「土砂災害マイタイムライン」を安戸町の皆様に実施させていただきました。

「まちあるき」で危険箇所調査

9 月 20 日、6 年生が毎年おこなっている「まちあるき」も実施しました。大柳町を中心に新居町・小丸町も、タブレット(携帯パソコン)を持参して調査しました。

今回、調査した結果については、10 月に愛知工業大学の先生方のご協力で、6 年生の児童が電子マップ(常磐東小学校ホームページ)の更新に挑戦します。



9 月 20 日 6 年児童の「まちあるき」

令和元年度の4月～9月までの常盤東小の主な防災実践

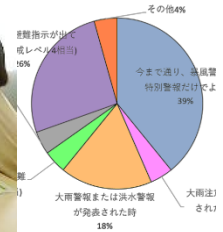


①「防災避難訓練」(救助袋の降下訓練とシェイクアウト)

- ・4月、全校児童で運動場に避難訓練を実施した後、3階からの降下訓練を4年から6年児童が行い、他の児童は見学。
- ・8月、放送で全員が机の下に避難し、シェイクアウトの実施。

②「防災・減災授業」

- ・5月、DVDで被災している映像やボードゲームで避難の大切さを学習。



③「心肺蘇生法講習会」(胸骨圧迫とAED)

- ・6月、5・6年対象で前消防署長さんから学習。
- ・6月、保護者・教員対象の心肺蘇生法講習会の開催。全講の児童はやり方を見学して学習。

④「防災アンケート」(全保護者)

- ・8月、臨時保護者会を開催し、全保護者が防災アンケートを実施。アンケート結果は分析して、9月に公表。



⑤「親子防災学習」(全保護者児童)

- ・9月、全校の親子が一緒に考え、「マイタイムライン」を作成。

⑥「まちあるき」(大柳町・安戸町・新居町)

- ・9月、6年児童と一緒に地域、大学、NPO法人の方々が出発して、土砂災害の危険箇所の説明や調査を。



⑦防災会議(学校・地域・保護者・大学・NPO法人・行政等)

- ・5月・7月・9月に開催し、これまでの研究実践や今後の方向について、それぞれの立場からご意見を頂いている。

⑧地域へ(安戸町)

- ・9月、安戸町公民館で、マイタイムラインの実践。